



平成22年度 守る会の活動方針

守る会会長 板並 和夫

荻町集落は世界文化遺産となって今年度15周年を迎えます。この間、荻町集落を訪れる観光客は増大し、盛況な観光産業とともに住民生活は著しく向上しています。

これは、来年度制定40周年を迎える「白川郷荻町集落の自然環境を守る住民憲章」のもと区民会員が守りつないできた合掌家屋とその周辺の自然環境保護の賜であり、今後もこの「住民憲章」の精神を継承する活動が重要と考えています。

そこで、引き続き平成17年の世界遺産10周年記念に採択された「2005世界遺産国際フォーラム白川郷宣言」を活動指針としてその具現化を図りながら、荻町集落の自然環境の維持保全のための活動を行います。ご協力をお願いいたします。

◎白川郷宣言の3つの柱

- (1) 隣人にやさしい心豊かで安全な共同生活のいっそうの充実
- (2) かけがえのない美しい文化遺産の保全と未来への継承
- (3) 国内外の人々との文化交流を通して友好の輪の拡大

①組織の強化と話し合いの充実

- ・各組・各種団体選出の委員がその代表者として責任を持ち、組・団体内への定例会の報告や意見要望を把握し区民会員全体の守る会となるよう努めます。
- ・現状変更申請の審議の適正かつ円滑化を図るとともに、周辺を含め景観保全にむけた充実した話し合いを進めます。
- ・「世界遺産マスタープラン住民検討会議からの提唱」による村等への意見反映や住民として必要な取り組みを行います。
- ・住民憲章制定・守る会結成40周年記念事業に向けて取り組みを始めます。

②景観・文化遺産の保全と未来への確かな継承

- ・休耕地の復原・農地保全に努めると共に、営業者等との話し合いを通して世界遺産に相応しい農村集落の維持改善に努めます。
- ・交通対策委員会との協調・協力のもと、安全な生活・観光環境を目指します。
- ・荻町交流施設検討委員会において、集落内幹線道路の舗装と側溝等の世界遺産集落に相応しくより良い形態を研究し整備の要望・実現に努めます。
- ・合掌家屋の維持保存のため、カヤ場の復原やカヤの自給率向上に努めます。

③研修会等自主的な活動の展開と内外への情報発信

- ・全国の連携協力関係にある団体等の行事等に積極的に参加し、荻町住民及び守る会の集落保存活動をPRし、文化遺産の保全への理解と協力を求めます。
- ・広報ねそとホームページを最大限に活用し、守る会の活動状況や景観保全の重要性を内外に広く発信します。
- ・荻町合掌集落の環境保全等について、住民意識の醸成・高揚を図ることを目的とした研修会等自主的な活動を提案し実施します。
- ・(財)日本ナショナルトラスト旧寺口家を活用し、合掌集落の保存継承に関する荻町区・守る会等の合掌集落保存活動等について、観光客を主体に紹介します。

(以上、4月定例会にて承認済)

研修視察に行ってきました！！……3月16・17日と、長野県の伝建地区である青鬼集落及び海野宿を視察しました。守る会委員・財団職員合わせて14名の参加で、各伝建地区の見学及び保存会長さんとの懇談を行いました。荻町と同じ茅葺き屋根をもつ農村集落の保存活動や宿場町の景観保全と生活空間が両立している様子等、多くのことを感じ学ぶことができました。参加者のレポートもいただいていますので、詳細については5月号の会報で紹介・報告させていただきます。

セंगा岩倉庫夏期使用開始……セंगा岩倉庫は4月4日に搬出・整備を済ませ、11月までの夏期使用に入りました。今回は12件19台の農機具、除雪機等が収納となり、順次活用を進めています。夏期の収納はこれで満杯状態となっておりますが、今後の使用や要望等がありましたら、今藤建二一般環境部長または役員へお知らせ下さい。

屋根の葺き替え……3月22日に、食堂いろりさんの東面の屋根葺きが行われました。葺師の和田茂さんの指示のもと、140名が参加し取り組みました。この中には白川中の生徒50名も含まれ、力や運びや掃除のお手伝いをしながら、作業の様子を見守りました。結による屋根葺きは「屋根葺きを通しての住民の結束」と「屋根葺き技術の伝承」という重要な役割を担っています。老練な葺師の技と、それを吸収しようと果敢に屋根に挑む多くの若者の姿から、結の大切さを実感した一時でした。多くの皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



【結で行われた屋根の葺き替え】

平成22年度白川郷荻町集落の自然環境を守る会委員一覧			
選出部門	氏名	役職・所属部会	
選	拳 板並 和夫	◇会長	
推	薦 根尾 俊道	◇副会長	
推	薦 和田 正人	◇事務局長 ○総務部長	
推	薦 手塚 勇樹	・事務局員	
集落議員	松井 實	・相談役	
集落議員	長瀬 吉実	・相談役	
集落議員	川田 裕	・相談役	
集落議員	上手 英二	・相談役	
中屋組	野谷 信二	○合掌環境部長	
東上組	林 正人	・一般環境部	
東中組	長瀬善治郎	・合掌環境部	
東下組	渡邊 秀徳	・一般環境部	
西上組	板谷 孝明	・総務部	
西下組	今藤 建二	○一般環境部長	
橋場組	手塚 正人	○企画部長	
女性会	佐藤 千登世	・総務部	
女性会	川淵 佐栄子	・企画部	
女性会	寺口 弘美	・一般環境部	
青年	松山 秀則	・企画部	
合掌組合	矢野 政幸	・合掌環境部	
土産品組合	神田 将成	・合掌環境部	
飲食店組合	寺口 厚雄	・企画部	
合掌財団	木下喜実雄	財団事務局長	
合掌財団	下目 稔	財団職員	
合掌財団	松本 継太	設計士 教育委員会へ研修	
教育委員会	宮丸 和之	教育委員会事務局長	

※22年度の新しい委員です。景観保全にむけ頑張りますので、ご支援・ご協力の程、よろしく願いいたします。

＝ 3月の活動報告 ＝

- 3月11日 3月定例会（18名）
- 3月12日 ねそ3月号発行
- 3月14日 荻町区雪上運動会（荻町公民館主催）
- 3月15日 荻町区集落座談会（役場主催）
- 3月16日 守る会委員研修視察（～17日 長野県）
- 3月22日 結による屋根葺き（いろり）
- 3月22日 村伝建審議会（役員）
- 3月29日 財団評議員会（副会長・事務局）

5月の定例会は10日（月）を予定しています。

＝ 区民の皆様へ ＝

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんの理解とご協力をお願いします。

☆ 4月の協議事項（現状変更申請に関わって） ☆

- ***** 落屋の修復・葺き替え
- ***** 西側2階窓取替、南側妻張替
- ***** 入り口拡張・大戸の設置
- ***** 看板取付（再審）
- ***** 看板撤去と暖簾の設置
- ***** 窓の取替
- ***** 古雨戸・戸箱取替
- ***** 看板の取替
- ***** 仮設の庇（再審）
- ***** 自家道路舗装工事

